

令和5年度自治体等 FM 連絡会議千葉県地域会開催報告

千葉県地域会代表幹事 千葉県流山市総務部財産活用課
ファシリティマネジメント推進室

去る令和6年1月19日に船橋合同庁舎3階分室会議室1において、令和5年度自治体等FM連絡会議千葉県地域会をこれまでと同様、千葉県公共建築等連絡協議会FM研究部会との共催により開催しました。

当日は、千葉県20自治体から42名の方に参加いただきました。

今回は、秦野市監査事務局局長の志村様から「公共施設更新問題への挑戦」、袖ヶ浦市財政部資産経営課参事の嘉寛様から、「袖ヶ浦市庁舎における ZEB の取り組みについて」、ご講演いただき、千葉県総務部資産経営課副主査の武井様からは来年度設置予定の「千葉県地域プラットフォーム」について周知がありました。

志村様のご講演では、主に公共施設の再配置計画についてお話があり、将来の財政状況の見通しから、公共施設の縮減目標を定めること。また、縮減するにあたり、山間部の小学校区について統廃合を進めるのではなく、大切なコミュニティの単位として残す方針だとの説明を受けました。

統廃合については、千葉県内の自治体においても人口減少が進んでいるところが多く、喫緊の課題であることから大変参考になる内容でした。

嘉寛様のご講演では、千葉県内では、まだ実施件数が少ない ZEB 化と取り組みについてでした。政府では、2050年度までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする目標を定めており、その目標の達成については、施設の ZEB 化については推進していく必要があります。また、ZEB化事例が少ない中、ZEBReady達成に向けた省エネ技術、創エネ技術等についてご説明があり、今後、各自治体においてZEB化を検討する上で大変参考になる内容でした。

また、最後には、来年度千葉県で設置予定の地域プラットフォームについて千葉県資産経営課武井様から周知があった後、参加者をグループごとに分け自治体毎の課題や取り組みについて活発な意見交換を行いました。